

学校教育目標 「明るくいきいきと生きぬく子」

研究主題 「協働学習の中で一人ひとりの力を高める授業づくり」

学校  
像

楽しい学校 学びいっぱい

- ・学ぶ喜び
- ・共に伸びる喜び

美しい学校 花いっぱい

- ・豊かな学習環境
- ・心のやすらぐ環境

開かれた学校 人いっぱい

- ・地域社会に開かれた
- ・未来に開かれた

(県)

- ・障害の特性に応じた指導の充実に努める。
- ・特別支援学校を核としたネットワークの構築を図る。
- ・ニーズに応じた合理的配慮を提供する。(重点)
- ・障害の特性に応じた適切な就学指導を行う。
- ・自立や社会参加を見通した進路指導を行う。

子どもとともに歩み、引き上げる教師

専門性を高め、信頼される教師

つながりあいを大切にし、共に生きる社会を創っていかうとする教師

(本校)

- ・小学部・中学部の9年間の一貫性と独自性を調和させ、合理的配慮の観点を踏まえた個別の支援計画・指導計画を充実する。(県重点)
- ・就学指導に結びつく教育相談を実施する。
- ・地域のセンター校として、様々な情報を提供し、特別支援教育の理解と啓発を推進する。(県重点)

教師  
像

めざす児童・生徒の  
具体像

小学部

- ・明るく元気でたくましい子
- ・なかまと共にのびゆく子
- ・ねばり強くとりくむ子

中学部

- ・体と心を鍛えたくましく成長する子
- ・人と人とのかかわりあいの中で伸びようとする子
- ・つながりを大切にし、社会自立をめざす子

心の通い合う学校

元気・やる気・根気

## 努力目標

児童・生徒一人ひとりの障害の特性を的確に把握し、個に応じた指導内容と支援体制を充実することにより、児童生徒の可能性を開発・伸長させ、生きる喜びを得させる教育実践を推進する。

### (1) 生活指導の徹底

日常生活に必要な能力を高める個別の指導計画を具体的に作成し、身辺自立の確立を図る。

### (2) 教育内容の充実

教科学習や領域・教科を合わせた生活単元学習、作業学習との系統化を図り、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を推進する。

### (3) 学習評価の充実

一人ひとりの障害の状況や発達段階を踏まえ、小中を通した計画的で一貫性のある「個別の指導計画・支援計画」を作成し、児童・生徒のよさや成長の状況を「個人記録」などで積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を検証し、指導の改善を積極的に行う。

### (4) 交流教育の推進

地域の児童・生徒とともに生活したり学習したりする機会を多く持ち、共通体験を通して互いに理解し、つながり合い、好ましい人間関係の構築に努める。また、障害のある児童生徒の自立と社会参加を促進するため、交流にあたっては、個別の指導計画に位置づける等個々のねらいを明確にすると共に、計画的に、かつ相手校と連携し実施方法等を工夫する。

### (5) 特別支援学校のセンター的機能の充実と学校間連携を図る

地域内の学校園や、他の特別支援学校間のネットワークを活用し、多様な相談への対応や適切な支援等を行う。

地域住民や保護者の特別支援教育に関する理解が深まるよう、関係機関と連携して、積極的な情報提供に努める。

### (6) 専門職としての資質の向上

一人ひとりの児童・生徒に応じた確かな教育を推進し、具現化するための実践的な力量を高め、資質の向上を図るとともに、特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。また、合理的配慮の義務化を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築に向けた新たな課題に対応できる指導力の向上に努める。

### (7) 安心安全の学校づくり

安全管理・安全教育に徹する組織を構築し、協働して生活環境づくりに努める。